

令和7年度沖縄県文化芸術振興審議会 議事概要(案)

日時: 令和7年8月14日(木)10:00~11:00
場所: 沖縄県庁6階第2特別会議室

1 報告事項

- ①「沖縄県文化芸術振興計画」の進行管理について
- ②「沖縄県文化芸術振興基金」の創設について

2 議事概要

金城委員

沖縄県文化芸術振興基金について、知らなかった、活用できなかったという状況が無いように広く周知してほしい。

崎山委員

成果指標「県が支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント(公演等)の参加者数」の達成率が以上に高いのはなぜか。

県

成果指標「県が支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント(公演等)の参加者数」は、県が後援したイベントの参加者数となっている。令和5年度から「全島エイサー祭り」を集計に含めており、約30万人の参加者があるということで数値が大きくなっている。

遠藤委員

道具類の保管場所に対する補助について、今後ずっと補助し続けるのではなく、どうしたら解消するのかという事を考えてほしい。

また、専門人材の配置について、取組状況を教えて欲しい。

沖縄県文化芸術振興基金について、何をやるかについて誰がどう決めるのかが不明であり、取組の数値目標や検証方法についても明らかにされていない。多くの人達が基金事業の効果を実感しづらいと思う。

現在行っている脚本コンテストについても、最終的にどのくらいの予算規模になるのか、今年度だけで2,500万円の予算を1本の公演にかけるのが適切なのかということが問われると思う。

県

専門人材の配置については、次年度の配置に向け内部調整を行っている。

基金は、寄附を募り、それに行政の一般財源もあわせて積立てていくというこ

とで、県民全体で支援する仕組みができたところ。今後の基金事業の在り方、進め方については、しっかり議論したいと思っている。今後、事業の説明も含めて本審議会の場を活用するのか、他の会議体を設定し整理するのか等、検討させていただきたい。

上原委員

沖縄県文化芸術振興基金を活用して空手のミュージカルをつくり世界に発信したい。

崎山委員

審議会の在り方について見直して欲しい。せつかく各分野を代表する委員が出席しているので、委員全員が意見を出し合えるような場にしてほしい。